

## 小学校第1学年 道徳科学習指導案

児童数 25名

指導者 橋本 可奈

### 1 主題名

小さいけれど、たいせつな いのち【生命の尊さ】小学校 低D (19)

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

赤ちゃんハムスターが成長する様子やハムスターの赤ちゃんの気持ちを考えることを通して、生きることのすばらしさや自分を大切に育ててくれた家族の思いに気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。

#### (2) 教材名

「ハムスターの 赤ちゃん」(学研教育みらい「新・みんなのどうとく」1年)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本指導内容は、生命あるすべてのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることに関するものである。

この段階の指導においては、日々の生活経験の中で生きていることの素晴らしさを感じることが中心になる。「体にはぬくもりがあること」「ごはんがおいしく食べられること」「学校に来てみんなと楽しく学習や生活ができること」など、当たり前のことで見過ごしがちな「生きている証」を感じ取らせたい。また、自分の誕生を心待ちにしていた家族の思いや自分の生命に対して愛情をもって育ててきた家族の思いに気づくなど、自分の生命そのもののかけがえのないさに気付けるようにしていきたいと考える。

#### (2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、1学期に、自分自身が成長してきたことを考えることを通して、命のすばらしさについて考える学習を行っている。児童は「命は大事」だということは分かっているが、それを具体的に理解するのは難しいと思われる。そこで、日常生活において当たり前に行っていることこそが生きている証であることを実感させ、自分の生命そのものがかけがえのないものであることに気付けるようにしていきたい。

#### (3) 使用する教材の特質や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、お母さんハムスターが生まれたばかりの赤ちゃんハムスターを大切に育てる様子や一生懸命生きようとしている赤ちゃんハムスターの様子、また、そんなハムスターたちの様子を、喜びを感じながら見ている主人公の思いや願いが表現されている。

本時の指導では、赤ちゃんハムスターが生まれて10日たったお母さんハムスターの気持ちと、赤ちゃんハムスターの気持ちを考えさせる。その際、ペープサートを使って役割演技を取り入れ、気持ちだけでなく動きやしぐさなどもできるだけ表現させることで、それぞれの思いに迫れるようにしたい。また、家族からの手紙を一人ひとりに準備しそれを読むことで、自分が家族にとってかけがえのない存在であり、愛情いっぱい育てられてきたことが生きていることの喜びとして実感できるようにしたい。

